

TAGAJO HIGH SCHOOL

2022



宮城県多賀城高等学校 学校案内

スーパーサイエンスハイスクール指定校
ユネスコスクール加盟校



学校長挨拶



本校は創立以来、「さとく ゆたかに たくましく」を教育目標として生徒一人一人の成長を支援する人間教育を志してきました。平成28年には県内初、全国でも2校目の防災系学科「災害科学科」を設立し、東日本大震災の被災地にある学校として、普通科のカリキュラムや特別活動にも防災・減災・伝災学習を取り入れています。また、平成30年からは文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクールの指定を受け、災害を科学的に捉えた探究型の学習により、生徒自らが課題を発見し実験や調査で考察を深める問題解決型学習を行い「21世紀型スキル」を磨いています。これらの取組が評価され、令和3年には防災功労者内閣総理大臣表彰を受けるなど、全国からも注目される学校となっています。

さらに、令和4年度入学生から、県内公立高校でも先駆的に、全員が個人のタブレット端末を使用しての学習をスタートさせました。中学校からの学びを止めず、さらには新しい時代に取り遅れることなく、Society5.0 時代に対応できる人材育成を目指したいと考えています。

この冊子は、そのほかにも、本校の特色ある学びの紹介や学校行事、部活動、卒業生の進路等盛りだくさんの内容です。「誰にでも未来を創る能力（ちから）がある」をモットーに、生徒一人一人に活躍の機会を提供し、みなさんの成長を支援します。

さとく

知性と思考力の獲得

ゆたかに

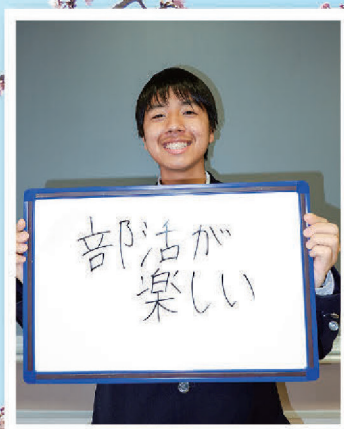
人格の尊重と人間力の育成

たくましく

心身の健康

多高生の

声



災害科学科・前生徒会長
櫻井 乃綾 さん
(多賀城中出身)

私はこの3年間で知識や経験を得るだけでなく、様々な力が伸びたことで人として成長することができました。課題研究や防災・減災についての特徴のある学習に加え、本校はスーパーサイエンスハイスクールの指定校でユネスコスクールに加盟していることもあり、多賀城高校でしかできない学びが沢山あります。災害科学科の巡検では実際の現地に足を運び学ぶことでより災害への知識を深め、様々な形で個人がアウトプットすることができます。また部活動も盛んに行われ、文武両道の精神で励むことのできる環境が整っています。多賀城高校での3年間は自分を大きく成長させることができるでしょう。皆さんも多賀城高校で青春を送りませんか？



普通科
久光 優希 さん
(鹿島台中出身)

多賀城高校の生徒たちは、日々の学習や部活動にも熱心に取り組んでおり、文武両道ができる学校です。学校行事では球技大会、多高祭、体育祭の多高3大行事も行われ、楽しむ時はとことん学校全体で盛り上がる、メリハリのある学校です。さらに本校は普通科でも防災教育について学ぶことができ、生徒それぞれが決めた研究テーマについて考えていく課題研究が熱心に行われていて、自分自身の考えを広げたり、様々な経験を積んだりすることのできる良い機会になると思います。皆さんもこのような学校で一緒に高校3年間の青春を送ってみませんか？

特色のある学び

SSH(スーパーサイエンスハイスクール)

文部科学省では、将来国際的な科学技術人材を育成することを目指し、理数教育に重点を置いた研究開発を行う「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)事業」を実施しています。本校では、『**防災・減災をイノベーションする科学技術人材育成のためのプログラム開発**』という研究課題を掲げ、人とくらしを守り、持続可能な未来を創造する科学技術人材の育成を目指しています。

ユネスコスクール

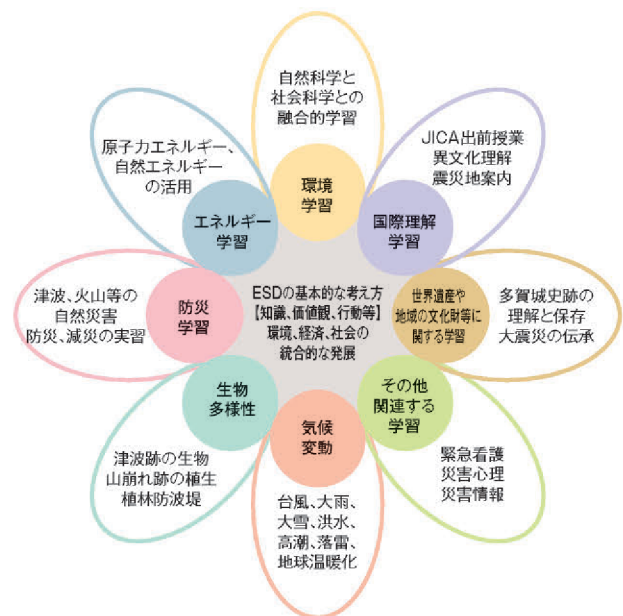
ユネスコが提唱する ESD(持続可能な開発のための教育)の観点に基づき、人間を含めた命ある生物が遠い未来までその営みを続けていくための学習を教科横断的に行います。多賀城高校では**防災学習プログラム**、**自然科学学習プログラム**、**国際理解学習プログラム**を ESD の柱と定め、持続可能な社会を担う人材を育成するための教育を授業、特別活動等あらゆる場面で行います。



アースサイエンスウィーク



SSH生徒研究発表会(神戸)



多賀城高校の ESD と3つのプログラム

《 自然科学学習 プログラム 》

実験や実習、フィールドワークをとおり、自然災害について科学的視野から調べ、自然科学の原理や自然環境の多様性について学ぶ。

《 防災学習 プログラム 》

防災・減災の基本知識を身に付けつつ、自然環境と人間社会の有り様を考え、あらゆる災害に強い社会づくりを発信する。

《 国際理解学習 プログラム 》

世界の災害を調べたり、東日本大震災の被災と復興の様子を海外にも発信したりすることで、防災・減災についての情報や取組を共有する。

令和4年度入学生教育課程

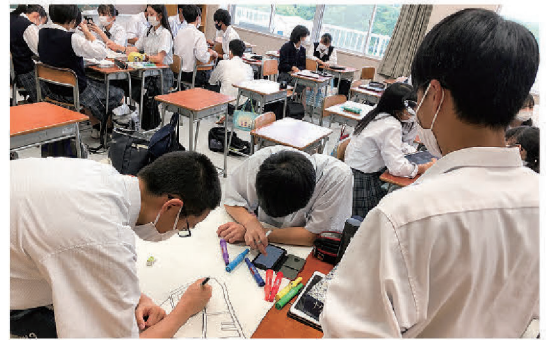
普通科(定員240名 6クラス)

普通科で学ぶ教科・科目(緑色が学校設定科目)

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
1年		現代の国語		言語文化		歴史総合		地理総合		数学I		数学A		物理基礎		生物基礎		体育		音楽I		英語 コミュニケーションI		論理・ 表現I		くらしと 安全A		情報と 災害	ESD 課題 研究	LHR					
2年	文	論理国語		古典探究		地理探究 日本史探究 世界史探究		公共		数学II			数学B		地学基礎		体育		英語 コミュニケーションII		論理・ 表現II		くらしと 安全A		情報と 災害	ESD 課題 研究	LHR								
	理	論理国語		古典探究		公共		数学II			数学B		化学基礎		(仮) SS化学		(仮)SS物理 (仮)SS生物		体育		英語 コミュニケーションII		論理・ 表現II		くらしと 安全A		情報と 災害	SS 課題研究		LHR					
3年	文	論理国語		古典探究		地理探究		政治・経済		体育		英語 コミュニケーションIII		論理・ 表現III		数学II		数学C		論理・ 表現III		(仮) 時事問題 研究		倫理		選択アプローチI、II I(仮)アプローチIII(仮)アプローチIV II(仮)アプローチIII(仮)アプローチIV		ESD 課題 研究		LHR					
						文学国語										音楽II																			
																		国語表現		数学A												演奏研究		美術I	
	論理国語		古典探究		地理探究		数学II		数学C		(仮)SS化学		(仮)SS物理 (仮)SS生物		体育		英語 コミュニケーションIII					論理・ 表現III		SS 課題 研究											

※通年で学校設定科目「ボランティア」1単位を設置(承認された者のみ)
 ※2年次の課題研究②の1単位分は特別時間割により編成される(長期休業中など)
 ※科目名の前に(仮)があるものは、開講に向けて宮城県教育委員会と協議中のもの
 ※化学基礎と(仮)SS化学はセメスター

普通科では、1年時に共通教科・科目を学習し、2年時より上級学校への進学を念頭に理系または文系に分かれて学習をします。少人数制での授業展開も実施され、きめ細やかな授業が行われています。



災害科学科(定員40名 1クラス)

災害科学科で学ぶ教科・科目(黄色が学校設定科目)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
1年	現代の国語	言語文化	社会と災害	数学I	数学A	実用 統計学	自然科学と 災害A	自然科学と 災害B	体育	英語 コミュニケーションI	論理・ 表現I	くらしと 安全A	情報と 災害	SS 課題 研究 基礎	LHR																			
2年	論理国語	古典探究	公共	数学II	数学B	自然科学と 災害B	化学	物理 生物	体育	美術I	英語 コミュニケーションII	(仮) 科学英語	くらしと 安全A	情報と 災害	SS 課題研究	LHR																		
3年	論理国語	古典探究	歴史総合	(仮) 倫理と 国際社会	数学II	数学III	数学C	化学	物理 生物	(仮) 科学技術 と災害	体育	英語 コミュニケーションIII	(仮) くらしと 安全B	SS 課題研究	LHR																			

※通年で学校設定科目「ボランティア」1単位を設置(承認された生徒のみ)
 ※2年次の課題研究②の1単位分は特別時間割により編成される(長期休業中など)
 ※科目名の前に(仮)があるものは、開講に向けて宮城県教育委員会と協議中のもの

災害科学科では、普通科の学習内容を防災や減災、環境の切り口も加えて学習します。専門科目では、過去の災害や環境から見られる諸問題を学習題材にするなど、自然科学的なアプローチや人間社会学的視点を養う学習まで幅広い内容を扱います。



多賀城高校での学び

「新たな視点での、大切な学び」

「くらしと安全A」「情報と災害」などでは、全校生徒が、学校設定科目の中で、防災や減災、あるいはESD(持続可能な開発のための教育)の視点を積極的に取り入れ、学習していきます。被災地にある学校として、今後の未来を創る人材を育成すべく、新たな視点での学習が行われています。より高度で専門的な学習をするために、専門的知見に富む専門家を招いての特別授業も積極的に行っています。

ICTを活用した教育

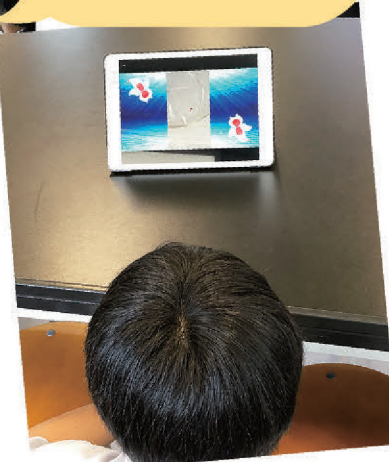
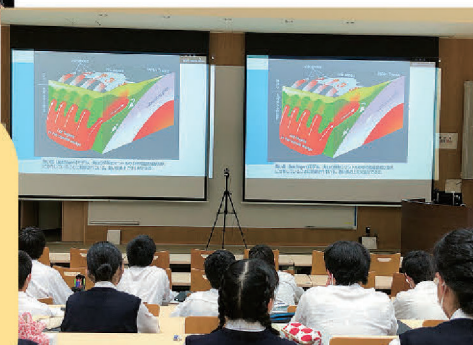
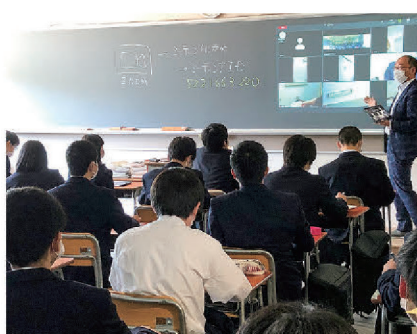
災害科学科生、また令和4年度からは普通科生徒も入学と同時に各自でiPadを持ち、効果的な学習活動を行います。学校備品のiPadも利用可能です。課題研究などではプレゼンのための準備や、発表の際にも使用します。

専門機関との連携

防災科学技術研究所(NIED)や産業技術総合研究所(産総研)などの専門機関と連携した学習を実施しています。東北大学や石巻日赤病院より講師を招いての授業を行うなど、より専門的な学習の機会も多く設定されています。

地域連携

「くらしと安全A・B」の科目の中では、防災教育の一環として、地域資源を活用し、海上保安庁の指導のもと行われる水難救助の特別授業を実施しています。(新型コロナの影響で昨年度は中止)また、JR東日本などの企業とも連携し、防災に関する課題研究を行っています。



「災害科学科 ～防災・減災リーダーの育成～」

被災地にある学校として、防災・減災のリーダーとして国際的に活躍できる理系人材の育成を目指しています。

現地での学びの機会を得るため、1年時、2年時に巡検や研修があります。その中で様々な団体との連携を通して最先端の科学に関する知見を深めることができます。また、国際的な視野を養うために、Zoom等を活用して海外の学校との共同研究を行い、外国と防災・減災についての情報交換をしています。さらに、海外交流として来日した外国の方にも被災地を案内することもあります。

現地でしか学べないこと

災害科学科では、1年時に浦戸巡検、2年時に有珠山巡検、栗駒・気仙沼巡検を実施します。この他、1年時には日本を代表する研究機関で研修を行う「つくば研修」を実施します。防災科学技術研究所(NIED)や産業技術総合研究所(AIST)等で最先端の科学に関する知見を深めます。

さらには海洋研究開発機構(JAMSTEC)との連携により、塩竈浦戸諸島における野外実習を行い、実験の手法について学びます。



命とくらしを守る

2011年3月11日に発生した東日本大震災。その被災地にある学校として、今後の復興の担い手を育成し、防災・減災の観点から今後の社会を力強く生き抜く力を育みます。普通科の学習内容を発展させ、防災や減災、環境の切り口なども加えて学習します。専門科目では、過去の災害や環境から見られる諸問題を学習題材にするなど、自然科学的なアプローチや人間社会学的視点を養う学習まで幅広い内容を扱います。普通科での学習内容を組み替え、多岐にわたる内容も扱うため、より深い学びに繋がります。

1年時 浦戸巡検



2年時 栗駒・気仙沼巡検



国際的な視野

さらなる高度な学問を体系的に学び、地球規模の課題に対して先駆的な立場で国際的に活躍できる人材を育成します。自ら国際的問題点を抽出し、それに対する自分なりの解決策を考え、発表する活動などを通して、国際化の進む社会を生き抜く力を身につけます。また、Zoom(ビデオ会議ツール)を活用したインドネシアとの課題研究など、海外に目を向け、視点を広げるとともに、防災や減災についての情報を世界に向けて発信しています。

学校設定科目のイメージ



多高生の1日

菊池せせらさん編



普通科3年

菊池 せせら さん
(東豊中出身)

高校では、中学校の時と比べて教科数が増えるため、テスト勉強は前もって計画的に進める必要があります。そこで私は「学び処」をはじめとする校内にある学習スペースを上手く活用し日々の学習に取り組んでいます。

私は生徒会長をしているので普段は生徒会執行部での活動を行っています。また写真部にも所属しているため毎日忙しい日々ではありますが、学習面や部活動、それぞれの目標を掲げ充実した日々を送っています。

高校生になると生活リズムが崩れがちになりますが、きちんと自分の時間を管理することで学習時間も自由な自分の時間も確保する事ができています。

もし時間の使い方に困ったら多賀城高校には優しい先生方や先輩が沢山いるので気軽に聞いてみてください!!



多賀城高校の1年



4月

入学式
新入生オリエンテーション

5月

前期生徒総会



6月

第1回定期考査



9月

第2回定期考査



8月

夏期課外／多高祭



7月

球技大会／夏期課外



11月

第3回定期考査
後期生徒総会



10月

体育祭



12月

修学旅行
冬期課外



2月

第4回考査



3月

卒業式



1月

東日本大震災メモリアルday



部活動

多賀城高校には多様な部活動があります。運動部、文化部ともに計画的かつ主体的に活動しています。部活動に参加することによって、技術の向上だけでなく、心身の鍛錬とともに、同じ目標に向かう生徒間で強い絆を築き、人間的にも大きく成長することができます。

部によっては、運動部文化部ともに、県内各種大会やコンクールで好成績を収めるだけでなく、上位大会（東北大会や全国大会）へ出場している生徒もいます。

運動部

硬式野球／弓道／陸上競技／卓球／ラグビー／
山岳／水泳／柔道／硬式テニス／サッカー／
ソフトボール／バレーボール／剣道／
バドミントン／ソフトテニス／バスケットボール

文化部

吹奏楽／情報処理／語学研究／SS科学／
茶華道／合唱／放送／家庭／軽音楽／
美術／写真



主な大会の成績(令和3年度)

吹奏楽部	全日本吹奏楽コンクール宮城県大会金賞／全日本マーチングコンテスト東北大会金賞／カルチャークラブコンテスト2021グランプリ／日本学校合奏コンクールソロ部門全国大会 オーボエ銀賞 マリンバ金賞
軽音楽部	全国高等学校総合文化祭出場、宮城県高等学校対抗バンド合戦1年生大会グランプリ受賞
科学部	学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ2021 サイエンス・オブザイヤー2021仙台市長賞／日本森林学会大会高校生ポスター発表優秀賞／環境甲子園奨励賞
合唱部	宮城県アンサンブルコンテスト銀賞
山岳部	県新人女子優勝・男子5位／県総体女子5位
ソフトテニス部	県総体男子団体ベスト8・個人ベスト32／県新人男子個人ベスト32
水泳部	国体予選100m平泳ぎ タイム決勝4位
サッカー部	県総体ベスト16、県新人ベスト16、全国高校サッカー選手権宮城予選ベスト16
テニス部	県新人女子団体ベスト8
陸上競技部	県新人男子400m第4位／県総体男子八種競技第9位
バドミントン部	県総体男子対抗戦ベスト16／県新人対抗戦男子ダブルスベスト32／県新人女子団体ベスト32／県ジュニア選手権男子ダブルスベスト32・女子ダブルス・シングルスベスト64
弓道部	県総体女子個人第6位／県新人男子個人第6位

進路実績

(合格者の人数、過卒生含む)

全体の約9割が大学進学を目指していますが、様々な進路希望に対応できるよう、課外講習や土曜ゼミナール、公務員講習等も設定されています。大学入試を中心とした自己の進路実現に向けて頑張る生徒を後押しします。

学校	年度	R3	R2	R1	H30	H29
国公立大学	東北大学				2	2
	宮城教育大学	6	6	5	2	4
	宮城大学	10	21	20	7	14
	北海道大学				1	
	北海道教育大学				2	1
	室蘭工業大学				1	
	釧路公立大学			1		
	公立ほこだて未来大学	1				
	弘前大学		2	1	3	4
	青森公立大学	1		2		
	青森県立保健大学					3
	岩手大学	9	7	7	5	2
	岩手県立大学	2	1			
	秋田大学		2	1	1	
	秋田県立大学		2			
	山形大学	23	12	16	8	8
	山形県立保健医療大学			1		
	福島大学	4	3	6	9	3
	会津大学				1	1
	茨城大学				1	1
	新潟大学	2				
	長岡造形大学			1		1
	宇都宮大	2	1	1		
	群馬県立女子大学		1			
	埼玉大学			1		1
	埼玉県立大学			1		
	千葉県立保健医療大学					1
	高崎経済大学		1			
	前橋工科大学					1
	東京学芸大学				1	
	東京外国語大学	1				
	東京都立大学					1
	都留文科大学	1	1		1	
	静岡大学			1	1	
	静岡県立大学			1		
	信州大学			1		1
	公立諏訪東京理科大学		1			
	富山大学	1		1		
	石川県立大学				1	
	愛知県立芸術大学			1		
	琉球大学	1				
	名城大学				1	
国公立大学 合計		64	61	69	48	49
大学校	防衛大学校				1	
	防衛医科大学校	1		1		
	海上保安大学校				1	
大学校 合計		1	0	1	2	0

学校	年度	R3	R2	R1	H30	H29
私立大学	東北学院大学	148	125	163	110	133
	石巻専修大学	6	9	11	8	6
	仙台大学	5	4	6	3	2
	東北工業大学	20	30	44	30	24
	東北生活文化大学	1	4	1	2	4
	東北福祉大学	94	58	81	68	82
	東北医科薬科大学	7	6	6	3	7
	宮城学院女子大学	44	34	49	40	39
	仙台白百合女子大学	1	3	4	3	13
	東北文化学園大学	11	10	17	8	14
	尚絅学院大学	12	22	20	4	30
	酪農学園大学	2			1	1
	盛岡大学	2		3	1	1
	東北芸術工科大学	4	3	3	5	8
	新潟医療福祉大学	2	3	1		
	立教大学				1	
	明治大学			1	1	
	中央大学			1	3	3
	法政大学	3				
	学習院大学					1
	亜細亜大学				3	
	桜美林大学	2		1	1	
	国立音楽大学					1
	國學院大學	2				
	国際医療福祉大学			2	1	
	駒沢大学	2		2		1
	順天堂大学				1	
	昭和女子大学	2				
	成蹊大学	1			1	
	成城大学	1				1
	専修大学	1	1			2
	創価大学	1		5	1	3
	大正大学	3		1		2
	大東文化大学	1				
	多摩大学	4				
	多摩美術大学				1	
	東洋大学	2	1	3	1	1
	日本大学	5	3	1	4	6
	日本女子大学	1				
	獨協大学			1		
	北里大学		2			
	城西大学					2
	神田外国語大学	1	5			1
	神奈川大学		3	1	1	
	関西大学	2		2	2	
	同志社大学				1	
	立命館大学	2				
	龍谷大学	3				
専門各種学校等	仙台医療センター付属看護助産学校	1	2	6	8	6
	仙台北徳会看護専門学校	2	1	2		2
	東北労災看護専門学校	1	1		1	3
	石巻赤十字看護専門学校	2	1	4	5	3
	公務員	13	11	12	14	7
公務員	民間就職	1	1	2	1	



令和5年度入学選抜について

求める生徒像

普通科

本校は、21世紀を担う人物の育成という観点に立ち、「知性の伸長」、「人格の尊重」、「心身の健康」を教育目標に掲げ、創立以来、地域社会の期待に応えてきました。

本校普通科では、基礎学力を養成するとともに、教科で学んだことを応用した課題の発見と解決について探究的・協働的に学び、研究成果の発表や発信を行うことで、表現力やコミュニケーション力を磨き、広い視野をもって社会や国家に貢献できる人物の育成に努めています。

そこで、普通科では次の1～4の全てに当てはまる生徒を求めます。

- 1 挨拶や言葉遣い、身だしなみなどの基本的な生活習慣が身に付いている生徒
- 2 中学校での学習への取り組みが良好で、その成果が優秀である生徒
- 3 自己の進路実現のために学習に真剣に取り組む、継続的に努力できる生徒
- 4 部活動や特別活動、生徒会活動等でリーダーシップを発揮し、積極的に活動する意欲のある生徒

特に、特色選抜においては、上記の2～4の全てに当てはまる生徒を重視します。

災害科学科

本校は、21世紀を担う人物の育成という観点に立ち、「知性の伸長」、「人格の尊重」、「心身の健康」を教育目標に掲げ、創立以来、地域社会の期待に応えてきました。

本校災害科学科では、基礎学力を養い、自然災害や自然環境及び防災・減災、災害に強い社会づくりについての学びを深め、防災・減災を主とした課題の発見と解決について探究的・協働的に学び、研究成果の発表や発信を行うことで、表現力やコミュニケーション力を磨き、広い視野をもって社会や国家に貢献できる人物の育成に努めています。

そこで、災害科学科では次の1～4の全てに当てはまる生徒を求めます。

- 1 挨拶や言葉遣い、身だしなみなどの基本的な生活習慣が身に付いている生徒
- 2 中学校での学習への取り組みが良好かつ成果が優秀であり、特に数学・理科の成績に秀でている生徒
- 3 本学科への志望動機が明確であり、入学後も上級学校への進学を視野に入れつつ、継続的に努力できる生徒
- 4 部活動や特別活動等でリーダーシップを発揮するとともに、互いの立場を考え、他者とのコミュニケーションを取ることができる生徒

特に、特色選抜においては、上記の2～4の全てに当てはまる生徒を重視します。

第一次募集

普通科

選抜順① 特色選抜

1 配点 (695点)

(1) 調査書 (195点)

- ・国語・数学・社会・英語・理科：全学年の評定を1.0倍
- ・音楽、美術、保健体育、技術家庭：全学年の評定を2.0倍

(2) 学力検査点 (500点)

- ・国語・数学・社会・英語・理科：得点を1.0倍

2 選抜方法

- ・審査は、学力検査点と調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する96人の150%の範囲に含まれる者を対象として行う。
- ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。

選抜順② 共通選抜

学力検査点 (500点満点) と調査書点 (195点満点) の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は6:4とする。

第2志望

災害科学科を第2志望とすることができる

災害科学科

1 配点 (795点)

(1) 調査書 (195点)

- ・国語・数学・社会・英語・理科：全学年の評定を1.0倍
- ・音楽、美術、保健体育、技術家庭：全学年の評定を2.0倍

(2) 学力検査点 (600点)

- ・国語・社会・英語：得点を1.0倍
- ・数学・理科：得点を1.5倍

(3) 面接 集団面接 10分程度 3段階評価 (A～C)

2 選抜方法

- ・審査は学力検査点と調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する16人の150%の範囲に含まれる者を対象として行う。
- ・学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、求める生徒像に照らして総合的に審査し、選抜する。

学力検査点 (500点満点) と調査書点 (195点満点) の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は6:4とする。

普通科を第2志望とすることができる

第二次募集

普通科

1 配点 (495点)

(1) 調査書 (195点)

- ・国語・数学・社会・英語・理科：全学年の評定を1.0倍
- ・音楽、美術、保健体育、技術家庭：全学年の評定を2.0倍

(2) 学力検査点 (300点)

- ・国語・数学・英語 (各教科100点満点)
- (3) 面接 個人面接 10分程度 3段階評価 (A～C)

2 選抜方法

上記1を基に、総合的に審査し、選抜する。

災害科学科

1 配点 (495点)

(1) 調査書 (195点)

- ・国語・数学・社会・英語・理科：全学年の評定を1.0倍
- ・音楽、美術、保健体育、技術家庭：全学年の評定を2.0倍

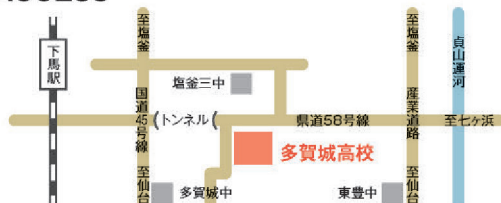
(2) 学力検査点 (300点)

- ・国語・数学・英語 (各教科100点満点)
- (3) 面接 個人面接 10分程度 3段階評価 (A～C)

2 選抜方法

上記1を基に、総合的に審査し、選抜する。

ACCESS



SCHEDULE

オープンスクール

令和4年7月2日 (土)

令和4年7月16日 (土)

多高祭 (文化祭一般公開日)

令和4年8月27日 (土)

〒985-0831 宮城県多賀城市笠神 2-17-1

TEL: 022-366-1225 FAX: 022-366-1226

<https://tagajo-hs.myswan.ed.jp/>